

第42回知名町内一周駅伝競走大会

西目チーム6年ぶりの優勝！

Aブロック

Bブロックは知名チーム



新 年恒例の町内一周駅伝競走大会が、1月2日にあしびの郷・ちなを発着点として開催されました。

今年から発着点が、役場前からあしびの郷・ちなに変更。これに合わせて、50代区間として役場前からあしびの郷・ちなまでの1・2kmが新設され、全長28・2km、12区間のコースとなりました。

当日は晴天に恵まれ、気温は20度を上回る正月とは思えないほどの暖かさのなか、午前9時30分に小学男子チームがスタートからトップを守る庄巻の走りで、2位に6分39秒の大差をつけゴールし、6年ぶり4回目の優勝を果たしました。昨年5連覇を達成した正名チームは2位、3位には昨年10位だった知名チームが入り、知名チームは合わせてBブロック優勝を果たしました。

今年も沿道から多くの町民が選手に声援を送り、大いに盛り

上がった大会でしたが、中でも特に大きな声援が送られていたのは、新設された50代区間。商店街からあしびの郷までの上り坂はまさしく『心臓破りの坂』で、アンカーを任された50代、60代の選手たちは、チームのために歯を食いしばりながら必死に坂を上りゴールしていました。

大会成績は次のとおりです。

【総合成績】（敬称略）

- ①西目（児玉泰斗・上村天将・神崎美樹・石上心乃・上村大河・増原宙・前紫葉・森海斗・神崎桃花・前あやめ・神崎兼三・上村広輝） 1時間43分47秒
- ②正名 1時間50分26秒
- ③知名 1時間50分58秒
- ④小米A 1時間52分12秒
- ⑤芦清良 1時間55分48秒
- ⑥住吉 1時間56分03秒
- ⑦下・屋 1時間56分09秒
- ⑧瀬利覚 1時間58分52秒
- ⑨田皆 2時間00分55秒
- ⑩小米B 2時間05分21秒
- ⑪上平川 2時間10分47秒
- ⑫余多 2時間15分34秒



選手宣誓を行う昨年度優勝した正名チームの久保選手



あしびの郷・ちなから勢いよく飛び出す小学生男子



2区で区間新の西目チーム上村選手（左）



今大会最年長の瀬利覚チーム吉井選手の力走



9区で区間新を記録した正名チーム川畑選手



完全優勝の西目チームアンカーを努めた上村選手